



# 南葵音楽文庫アカデミー 秋

THE ACADEMY OF NANKI MUSIC LIBRARY

橋本市教育文化会館/和歌山県立図書館(本館)

## 申込について

### 事前申込要 (定員60名・先着順)

聴講は以下の要領でお申し込みください。

#### 《メールでのお申込み》

題名に「南葵音楽文庫アカデミー参加希望」と書き、

- ①参加希望日
- ②参加者氏名
- ③連絡先電話番号

を本文中に明記のうえ、

[event@lib.wakayama-c.ed.jp](mailto:event@lib.wakayama-c.ed.jp)

までご送信ください。

※返信メールが受信できるよう設定してください。

#### 《来館/FAX/往復ハガキでのお申し込み》

上記の①～③に加え、

- ④参加者の郵便番号、住所、
- ⑤メールアドレス(任意)

を記入し、ご来館または下記までご送付ください。

[FAX] **073-436-9511** (和歌山県立図書館)

[郵送] 〒641-0051 和歌山市西高松1-7-38

和歌山県立図書館サービス課 宛

★各回ごとに定員になり次第受付を締め切ります。

★申込後に参加ができなくなった場合は、直ちにその旨ご連絡ねがいます。

**申込受付: 8/14(水)～**

問い合わせ先:

[TEL] **073-436-9520** (和歌山県立図書館)

[主催] 橋本市教育委員会 (9/14)

和歌山県立図書館 (両日)

**9月14日(土) 13:30-15:30** 橋本市教育文化会館  
3階 視聴覚室

### 「南葵音楽文庫」100年 今、その扉をひらく

美山良夫 (慶應義塾大学名誉教授)

1924年、南葵文庫の東京帝国大学寄贈に際し、音楽部門は除かれ徳川頼貞のもとで独立した歩みを始めます。頼貞は音楽事業部を設立、資料蒐集のみならず多様な音楽振興策を起動させます。それを支えた紀州人脈、数奇な命運など、和歌山に寄託公開されて明らかになった稀有の音楽コレクションの姿と歩みを、100年を機に、まとめて報告します。

南葵楽堂図書表札  
1924年10月2日開設



### G.F.テンドウッチの足跡を訪ねて

佐々木勉 (元名古屋音楽大学教授)

ジュスト・フェルナンド・テンドウッチ(1735頃～1790年)は、18世紀イギリスの音楽界で活躍したカストラート歌手(男声ソプラノ歌手)です。人気歌手としてクリスチャン・バッハのオペラに出演して喝采を浴びたことや、モーツァルトが彼のために作品を作曲したことが知られています。カミングス文庫から、彼が歌った作品や、彼のために作られた作品を探し出し、実際に聴きながらその足跡をたどりましょう。



テンドウッチ(1782)  
大英博物館所蔵

**9月15日(日) 13:30-15:30** 和歌山県立図書館(本館)  
2階 講義・研修室

### 南葵音楽図書館の軌跡①

### 同時代音楽へのまなざし フランスとロシア —— 南葵音楽図書館の楽譜蔵書から

近藤秀樹 (大阪教育大学講師) 林淑姫 (旧日本近代音楽館主任司書)

1925年に開設された南葵音楽図書館は、楽譜音楽書の蒐集にあたり確かな理念を確立し、大綱や方向性を『南葵音楽事業部摘要』第1(1929)で、自ら示しています。しかし、そこに記されていない特徴的な蒐集もおこなわれていました。それは同時代の音楽への積極的な関心由来するものです。特にフランス、ロシアの音楽に熱いまなざしの注がれていたことが、ここ数年の和歌山における調査で見えてきました。当時の先駆的な蒐集、その意志や意欲を、いま書庫にある楽譜等を示しながら紹介、100年前、音楽図書館の理想をもとめ邁進した活動の一端を検証することにします。

※当日は11:00から南葵徳川音楽塾(南葵音楽文庫閲覧室)も開催されます☞詳細裏面